

厚生福祉

時事通信社

104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信社
昭和28年5月30日 第3種郵便物認可
毎週2回火・金曜日発行(但し祝日を除く)
購読料金 税抜月額4,100円
本誌掲載記事・写真などの無断複写・複製・転載を禁じます。
©時事通信社2015
◎誌面内容に関するお問い合わせ(編集部)
kousei-dokusha@jiji.com

目次

特集	サ高住の現状と課題② 在宅医療の診療報酬のポイント.....	2
時短の看護正職員採用へ.....	7	
中央省庁ニュース.....	8	
保育士試験、年2回に 17年度末に6.9万人不足/大規模施設の減収緩和 ことも園認定返上対策でほか		
進言(福岡県).....	9	
調査・統計 第一生命経済研究所アンケート調査 「公的年金だけで生活無理」6割.....	10	
インタビュールーム(滋賀県).....	12	
速報 総額96兆3420億円—15年度予算案 社会保障増で過去最大に.....	13	
2014年度補正予算案関連情報.....	14	
短信.....	15	
私たちの工夫 みんなでやることの必要性 ~属人的思考からの解放.....	16	
新刊 「生命誌年刊号vol.77—80 ひらく」.....	17	
ニュースフラッシュ.....	18	
【福祉・子ども】入学準備金、入学前に支給 ほか【医療・健康】肝炎の初回精密検査に助成/中2対象にピロリ菌検査【環境・ゴミ】スマホ向けのごみ分別アプリ ほか【労働・女性】女性が管理職になりやすい職場づくり		
スコープ.....	20	

三位一体研究会

十一月二十一日の金曜日午後六時に、新生会のそれぞれの施設、系列の学校、グループ会社の中堅スタッフが十名ほど会議室へ集まってきた。

これから三位一体研究会の第一回の会合が始まるのである。会を運営するの中堅幹部。関連以外のメンバーは行政、学識経験者で、我々法人役員や幹部のスタッフはオブザーバーとして参加し、席も丸テーブルの外。現場のスタッフは指定された者以外でも自由参加が認められる。

何故、この会がスタートしたか。介護保険がスタートしてから、高齢者用の事業は大変な勢いで増加している。措置の時代から事業を行ってきた者にとって、財源は間違いなく豊

社会福祉法人新生会
名誉理事 長・石原美智子



かになつたが、それに引き替え、当然のこととして事務処理と、制度の絶え間ない変動が増加した。そのため、現場のスタッフは、サービス対象者よりも書類の処理と制度の変化に追われるようになってきている。措置の時代は、もう少しじつくりと皆が老人の方を向いていられたように思う。

事業者の中に措置の時代からの人が徐々に少なくなり、介護保険からの参入者が多くなると、その変化に気づかない。気づかない人が大勢を占めると、全てがそれで当たり前になってしまふ。昔がよかつたと言うつもりはないが、教育や制度と現場とのかけ違いが、最終的には利用者にしわ寄せがいくことを避けなければならない。

次々と出される新しい政策や、それに付随する新しい資格、書式の数々に右往左往している職員を見てみると、現場が疲弊していかないと不安になる。職員は利用者の生活が改善されたり、それによつて笑顔が出たり、発語が多く見られるようになることにやり甲斐を感じ、生き生きとケアに取り組める。研究会はこのエネルギーが消えないように、自分たちで夢を語り合い、新しく提示される制度などに前向きに取り組めるためにも、まず現場で「困っていること」を出し合い、整理していこうというものである。財源も人手も無駄にしないために、一貫した教育・現場・制度のあるり方を現場サイドで考えてみようというのである。利用者の最も近いところに位置する現場のスタッフの知恵から何かのヒントが見えるかも知れない。高齢者中心とは、現場中心と同義語なのだから。